



## 2019年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社Amazia

上場取引所 東

コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良

TEL 03-6427-8856

定時株主総会開催予定日 2019年12月25日

有価証券報告書提出予定日 2019年12月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期の業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	3,386	146.2	416	427.8	396	412.6	303	219.1
2018年9月期	1,375	17.5	78		77		94	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	93.54	89.93	47.6	36.4	12.3
2018年9月期	31.81		37.6	15.9	5.7

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 百万円 2018年9月期 百万円

- (注) 1. 当社は、2018年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社株式は2018年12月20日東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2019年9月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	1,613	965	59.8	291.19
2018年9月期	565	308	54.5	102.10

(参考) 自己資本 2019年9月期 965百万円 2018年9月期 308百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	324	58	334	839
2018年9月期	53	9	13	239

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期		0.00		0.00	0.00	0		
2019年9月期		0.00		0.00	0.00	0		
2020年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,760	110.0	287	59.3	283	73.5	193	52.1	58.13
通期	5,857	73.0	547	31.6	542	36.8	368	21.7	111.02

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期	3,314,100 株	2018年9月期	3,018,000 株
期末自己株式数	2019年9月期	112 株	2018年9月期	0 株
期中平均株式数	2019年9月期	3,239,479 株	2018年9月期	2,984,849 株

(注) 当社は、2018年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2019年11月12日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかにTDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(表示方法の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2019」によると、当社が属する電子書籍市場規模は、2018年度で2,826億円と推計され、2017年度の2,241億円から585億円(26.1%)増加し、2023年度には2018年度の約1.5倍の4,330億円に拡大すると予測されています。また、2018年度の無料マンガアプリ広告収益市場規模は、167億円と推計され、2017年度の100億円から67%増加し、2019年度には2018年度の約1.5倍の250億円に拡大すると予測されています。一方で、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。

このような経営環境の中で、当社は出版社等と協業して新作マンガを共同制作し、雑誌と「マンガBANG!」で同時配信するといった取組みによる新規ユーザーの獲得に注力するとともに、「マンガBANG!」主力コーナーであるプレミアムモデル(注)のコーナーで、2018年10月より株式会社秋田書店、2019年1月より株式会社スクウェア・エニックスと、又、同ストアコーナーで、2019年4月より株式会社小学館と新規取引開始するなど、配信作品を増加することで他社サービスとの徹底的な差別化を進めております。

以上の結果、当事業年度における売上高は3,386,580千円(前年同期比146.2%増)となりました。利益面については、積極的な広告宣伝の実施、新規上場に伴う株式公開費用、株式交付費が発生したものの営業利益は416,148千円(前年同期比427.8%増)、経常利益は396,443千円(前年同期比412.6%増)、当期純利益は303,027千円(前年同期比219.1%増)となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(注) プレミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産は1,613,255千円となり、前事業年度末に比べ1,048,096千円増加いたしました。これは主に、2018年12月に当社が東京証券取引所マザーズ市場に上場したことに伴う公募増資の払込があったことや、オーバーアロットメントによる第三者割当増資の払込を受けたこと等により現金及び預金が600,606千円、売掛金が397,198千円、本社移転に伴う敷金の差入により敷金及び保証金が41,353千円増加したこと等によるものであります。

#### (負債の部)

当事業年度末における負債合計は648,247千円となり、前事業年度末に比べ391,221千円増加いたしました。これは主に、買掛金が117,198千円、未払金が148,704千円、未払法人税等が86,525千円増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産は965,007千円となり、前事業年度末に比べ656,874千円増加いたしました。これは主に、増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ177,051千円増加したこと、当期純利益の計上により利益剰余金が303,027千円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ600,606千円増加し、839,783千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動の結果得られた資金は、324,928千円（前事業年度は53,988千円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増加397,198千円により資金が減少した一方で、税引前当期純利益の計上396,443千円、仕入債務の増加117,198千円、未払金の増加150,704千円、前受金の増加26,655千円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は、58,918千円（前事業年度は9,006千円の支出）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出52,109千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動の結果得られた資金は、334,596千円（前事業年度は13,095千円の収入）となりました。主な要因は、当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴う公募増資とオーバーアロットメントによる第三者割当増資による株式の発行による収入 338,814千円であります。

### (4) 今後の見通し

当社を取り巻く事業環境におきましては、電子書籍市場が拡大する中でサービスも多様化しております。このような環境の中、既存事業であるマンガアプリ事業の成長による収益拡大を目指すとともに、これまで培ってきたアプリ開発力とマネタイズ力を基盤に、海外へのマンガ事業及び新規事業も展開してまいります。

新規事業におきましては、当社の強みであるアプリ開発力とマネタイズ力を活用し、スキマ時間にアプリを楽しむユーザー向けサービスの創出を行ってまいります。

当社では、継続的な企業価値の向上を実現するために重要なユーザー、取引先、人材の獲得を効率的に進めるために、今後も費用対効果を重視したプロモーション、広報活動等を積極的に行ってまいります。

以上より、2020年9月期の業績は、売上高5,857百万円（前年同期比73.0%増）、営業利益は547百万円（前年同期比31.6%増）、経常利益は542百万円（前年同期比36.8%増）、当期純利益は368百万円（前年同期比21.7%増）を見込んでおります。

### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用については、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当事業年度 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	239,177	839,783
売掛金	250,689	647,888
前払費用	19,354	8,829
その他	119	72
流動資産合計	509,340	1,496,573
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,987	10,494
減価償却累計額	△383	△1,916
建物(純額)	1,603	8,577
工具、器具及び備品	1,840	6,803
減価償却累計額	△474	△2,202
工具、器具及び備品(純額)	1,365	4,600
有形固定資産合計	2,969	13,178
投資その他の資産		
長期前払費用	-	4,347
敷金及び保証金	22,324	63,677
繰延税金資産	30,525	35,479
投資その他の資産合計	52,849	103,503
固定資産合計	55,819	116,682
資産合計	565,159	1,613,255

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当事業年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,114	191,313
1年内返済予定の長期借入金	3,783	3,492
未払金	110,460	259,165
未払費用	2,930	11,524
未払法人税等	14,977	101,503
前受金	32,297	58,953
預り金	1,992	1,260
その他	9,771	17,830
流動負債合計	250,329	645,042
固定負債		
長期借入金	6,697	3,205
固定負債合計	6,697	3,205
負債合計	257,026	648,247
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	161,472	338,524
資本剰余金		
資本準備金	157,758	334,810
資本剰余金合計	157,758	334,810
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△11,098	291,929
利益剰余金合計	△11,098	291,929
自己株式	-	△256
株主資本合計	308,132	965,007
純資産合計	308,132	965,007
負債純資産合計	565,159	1,613,255

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,375,500	3,386,580
売上原価	860,721	2,058,857
売上総利益	514,779	1,327,722
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	313,439	669,705
役員報酬	37,650	48,300
従業員給料及び手当	28,346	51,520
法定福利費	8,918	14,216
支払報酬	20,515	35,234
その他	27,058	92,595
販売費及び一般管理費合計	435,929	911,573
営業利益	78,849	416,148
営業外収益		
受取利息	2	5
助成金収入	1,400	-
物品売却益	-	127
その他	94	-
営業外収益合計	1,496	133
営業外費用		
支払利息	170	126
為替差損	-	4,260
株式交付費	56	6,529
株式公開費用	2,000	6,938
新株予約権発行費	480	-
その他	301	1,983
営業外費用合計	3,008	19,838
経常利益	77,337	396,443
税引前当期純利益	77,337	396,443
法人税、住民税及び事業税	12,911	98,369
法人税等調整額	△30,525	△4,953
法人税等合計	△17,613	93,415
当期純利益	94,951	303,027



## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)		当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 仕入高		790,760	91.9	1,968,055	95.6
II 労務費		23,792	2.8	31,262	1.5
III 経費	※1	46,168	5.3	59,539	2.9
売上原価		860,721	100.0	2,058,857	100.0

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注費	24,895	20,380
賃借料	16,279	26,408

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、総合原価計算による実際原価計算であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰 余金 繰越利益剰余 金	利益剰余金 合計			
当期首残高	153,347	149,633	149,633	△106,050	△106,050	-	196,931	196,931
当期変動額								
新株の発行	8,125	8,125	8,125				16,250	16,250
当期純利益				94,951	94,951		94,951	94,951
自己株式の取得							-	-
当期変動額合計	8,125	8,125	8,125	94,951	94,951	-	111,201	111,201
当期末残高	161,472	157,758	157,758	△11,098	△11,098	-	308,132	308,132

当事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰 余金 繰越利益剰余 金	利益剰余金 合計			
当期首残高	161,472	157,758	157,758	△11,098	△11,098	-	308,132	308,132
当期変動額								
新株の発行	177,051	177,051	177,051				354,103	354,103
当期純利益				303,027	303,027		303,027	303,027
自己株式の取得						△256	△256	△256
当期変動額合計	177,051	177,051	177,051	303,027	303,027	△256	656,874	656,874
当期末残高	338,524	334,810	334,810	291,929	291,929	△256	965,007	965,007

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	77,337	396,443
減価償却費	607	3,701
差入保証金償却額	800	2,108
受取利息	△2	△5
支払利息	170	126
株式交付費	56	6,529
株式公開費用	2,000	6,938
新株予約権発行費	480	-
助成金収入	△1,400	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△57,820	△397,198
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,459	117,198
前受金の増減額 (△は減少)	10,478	26,655
未払金の増減額 (△は減少)	10,861	150,704
その他	2,069	30,999
小計	55,098	344,200
利息及び配当金の受取額	2	5
利息の支払額	△170	△134
助成金の受取額	1,400	-
法人税等の支払額	△2,342	△19,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,988	324,928
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,276	△15,457
敷金及び保証金の差入による支出	△7,729	△52,109
敷金及び保証金の回収による収入	-	8,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,006	△58,918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	10,480	-
長期借入金の返済による支出	△13,098	△3,783
株式の発行による収入	-	338,814
新株予約権の行使による株式の発行による収入	16,193	8,760
自己株式の取得による支出	-	△256
その他	△480	△8,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,095	334,596
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	58,077	600,606
現金及び現金同等物の期首残高	181,099	239,177
現金及び現金同等物の期末残高	239,177	839,783

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 平成30年2月16日)を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」26,721千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」30,525千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年 10月 1日 至 2018年 9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月 1日 至 2019年 9月30日)
1株当たり純資産額	102.10円	291.19円
1株当たり当期純利益	31.81円	93.54円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	89.93円

- (注) 1. 当社は、2018年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社株式は2018年12月20日東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2017年 10月 1日 至 2018年 9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月 1日 至 2019年 9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	94,951	303,027
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	94,951	303,027
普通株式の期中平均株式数(株)	2,984,849	3,239,479
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	130,195
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(株式数に換算した新株予約権の数216,200株)	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。